

奈良国立文化財研究所要綱

I. 事業概要

1. 研究普及事業

公開講演会

- (1) 1994年4月23日 退官記念講演会
 「朱雀門が建つ」 細見啓三
 「私の奈良学」 鈴木嘉吉
- (2) 1994年5月14日 第74回公開講演会
 「日本庭園の近代—京都・画家と庭とのかかわり
 を中心に—」 小野健吉
 「考古情報の視覚化」 森本 晋
- (3) 1994年10月29日 第75回公開講演会
 「平城宮南辺官衙の調査成果から」
 一部省省と兵部省の構造— 小澤 毅
 一部省省・兵部省対等化への道— 渡辺晃宏

- (3) 1994年10月1日 平城宮跡第252次(左京七条一坊十六坪) 内田和伸
- (4) 1994年10月15日 水落遺跡第7次 西口壽生
- (5) 1994年12月1日 山田寺第9次 黒崎 直
- (6) 1994年12月17日 平城宮跡第253次(左京七条一坊十六坪) 長尾 充
- (7) 1994年2月25日 平城宮跡第254次(左京七条一坊十六坪) 岩永省三
- (8) 1994年3月18日 本薬師寺参道 花谷 浩

平城宮跡資料館・遺構展示館(見学者数)

区 分	資料館	遺構展示館	計
1994年	56,914	53,622	110,536
累 計	1,355,014	1,694,426	3,049,440

資料館は1970年度、遺構展示館は1963年度以降の累計

現地説明会

- (1) 1994年5月19日・20日 藤原宮跡第75次 上原真人
- (2) 1994年6月1日～3日 平城宮跡第246次(右馬寮) 小澤 毅

2. 1994年文部省科学研究費補助金による研究

新 継	種 目	研 究 課 題	研究代表者	交付額(千円)
新	重点領域(1)	遺跡探査法の総合的開発研究	西村 康	11,300
新	重点領域(2)	集落・埋納遺跡の探査	西村 康	6,700
新	一般研究(A)	解析図化およびコンピュータ・グラフィックによる古代都城遺跡の比較研究	町田 章	5,000
新	一般研究(B)	常時微動測定による古建築の構造安定性に関する研究	内田昭人	3,900
新	一般研究(C)	都城・国分寺・国府・三関・その他の寺院における八世紀同範軒瓦の系統的研究	山崎信二	500
新	〃	古代における銅生産の考古学的研究	小池伸彦	1,200
新	〃	和鏡の生産と流通—出土鏡・鑄造遺跡からみた考古学的考察—	杉山 洋	1,100
新	〃	古代度量衡の系譜	西口壽生	1,200
新	〃	古代の地方端末における官衙遺跡の研究	山中敏史	1,300
新	〃	弥生時代と古墳時代の祭祀の比較研究	岩永省三	700
新	〃	画家による近代風庭園の系譜	小野健吉	700
新	〃	古代の金製および銀製金工品の材質と製作技法に関する材料科学的研究	村上 隆	600
新	〃	東アジアにおける古代ガラスの材質変遷からみた交易・流通システム	肥塚隆保	1,000
新	奨励研究(A)	設計規格からみた各地の大型前方後円墳の研究	岸本直文	900
新	〃	数量化による弥生時代打製石器の型式学的研究	森本 晋	900
新	〃	近世城跡に立地する近代化遺産の保存に関する研究	内田和伸	1,000
新	試験研究(B)	わが国古代の稲作農耕研究における生物考古学的手法の開発	工楽善通	1,000
新	研究成果公開推進費	二条大路木簡データベース	町田 章	4,540
新	〃	古代史の謎に挑戦する自然科学(研究成果公开发表)	田中 琢	10,500
新	国際学術研究	日本都城と中国都城との出土文物による比較研究	田中 琢	13,500
新	〃	中国長白山の巨大噴火の年代と環境への影響に関する年輪年代学術的研究	光谷拓実	2,600
	計	21件		70,140

重点領域(1)	(新規)	1件	一般研究(C)	(新規)	9件	研究成果公開推進費	(新規)	2件	
〃	(2)	(新規)	1件	奨励研究(A)	(新規)	3件	国際学術研究	(継続)	2件
一般研究(A)	(継続)	1件	試験研究(B)	(継続)	1件	計		21件	
〃	(B)	(新規)	1件						

3. 飛鳥資料館の運営

展 示

第一展示室 常設展示

増改築のため1994年6月30日まで閉館

1994年7月1日工事完成により開館

特別展示等

春期研究展示 増改築工事のため中止

秋期研究展示 「飛鳥の一と」

1994.10.4—11.24 (55日間)

特別講演会

1994年10月8日

「飛鳥の調査をふりかえって」

田中 琢

1994年11月5日

—「大化改新」と飛鳥京の政治—

山尾幸久

普及

インフォメーションルームにおいて観覧者の質問に応じている。特別展示の刊行物として「飛鳥の一と」を刊行した。閲覧室に資料を増冊した。

入館者数 (1994.7.1～1995.3.31 開館日数233日)

区 分	個人観覧	団体観覧	有 料	無 料	合 計
一般	20,363	8,283	58,041	4,293	62,334
高・大生	3,486	8,498			
小・中生	3,950	13,461			
計	27,799	30,242			

(平成5年12月6日より平成6年6月30日まで増改築工事のため休館)

陳列品購入

猿石

4. 埋蔵文化財センターの研修・指導

研 修

埋蔵文化財の保護に資することを目的として主に地

方公共団体の埋蔵文化財保護行政担当者を対象に次の研修を実施した。

区分	課 程	内 容	担 当 室	実施期日	研修 日数	修了 者数
一般 研修	一 般 課 程	遺跡の発掘調査に関する基礎的な知識と技術の研修	研 究 指 導 部	7月5日～8月10日	37	34
専 門 研 修	遺 跡 探 査 課 程	遺跡の探査に関して必要な専門的知識と技術の研修	発掘技術研究室	5月24日～6月2日	10	10
	保存科学基礎課程	遺物の保存に関する保存科学的な基礎知識と技術の研修	遺物処理研究室	6月14日～6月28日	15	16
	文化財写真課程	埋蔵文化財の写真撮影等に関して必要な専門的知識と技術の研修	情 報 資 料 室	8月17日～9月13日	28	18
	遺 跡 測 量 課 程	遺跡の測量に関して必要な専門的知識と技術の研修	測 量 研 究 室	9月20日～10月19日	30	17
	環 境 考 古 課 程	古環境復原研究のために必要な専門的知識と技術の研修	考古計画研究室	11月29日～12月16日	18	26
	遺跡保存整備課程	遺跡の整備に関して必要な専門的知識と技術の研修	保存工学研究室	1月18日～2月9日	23	17
特 別 研 修	寺院官衙遺跡調査課程	古代寺院・官衙遺跡の調査研究に関して必要な専門的知識と技術の研修	集落遺跡研究室	2月15日～3月1日	15	28
	埋蔵文化財基礎課程	埋蔵文化財行政を担当する上で必要な遺跡・遺物に関する基礎的知識の研修	保存工学研究室	4月20日～4月28日	9	29
	城郭調査課程	城郭調査に関して必要な専門的知識の研修	測 量 研 究 室	5月10日～5月17日	8	33
	製鉄遺跡調査課程	製鉄遺跡の調査研究に関して必要な専門的知識と技術の研修	集落遺跡研究室	10月25日～10月28日	4	32
	人骨調査課程	遺跡から出土した人骨の調査に関して必要な基礎的知識の研修	発掘技術研究室	3月7日～3月16日	10	23

発掘調査・保存整備等指導

北海道 ピリカ遺跡 高砂地区遺跡 手宮洞窟 常呂遺跡 北黄金貝塚 福山城

青森県 三内丸山遺跡 小牧野遺跡
岩手県 盛岡城跡 湯舟沢II遺跡
宮城県 一里塚遺跡 多賀城跡

秋田県 弘田柵跡 秋田城跡
 福島県 二本松城跡 慧日寺跡 根岸遺跡
 茨城県 平沢官衙遺跡
 栃木県 那須官衙関連遺跡 法界寺跡
 新潟県 八幡林遺跡 小泊須恵器窯跡群
 富山県 北代遺跡
 石川県 七尾城跡 奥原峠遺跡 須曾蝦夷穴古墳
 岐阜県 寺平遺跡 昼飯大塚古墳 江馬氏館跡 杉崎
 廃寺 片山廃寺
 静岡県 賤機山古墳 遠江国分寺跡 大知波峠廃寺跡
 愛知県 柳ヶ坪遺跡 三河国分寺跡 市道遺跡 東畑
 廃寺跡
 三重県 長者屋敷遺跡 城之越遺跡 繩生廃寺
 滋賀県 甲山古墳 安土城跡 木村古墳群 大規模遺
 跡
 京都府 物集女車塚古墳 恭仁京跡 大覚寺御所跡
 市坂瓦窯跡 梅谷瓦窯跡
 大阪府 金山古墳 心合寺山古墳 新池埴輪製作遺跡
 池島・福万寺遺跡
 兵庫県 祇園遺跡 太市中古墳群 有年原田中遺跡
 袴狭遺跡 篠山城跡 西求女塚古墳 赤穂城
 姫路城 西条古墳群 北山古墳群 二郎宮の
 前遺跡
 奈良県 酒船石遺跡 ナカレ山古墳 大野寺石仏 勝
 間田城跡 内山瓦窯
 鳥取県 梶山古墳 不入岡遺跡
 島根県 穴神横穴墓群 後谷V遺跡
 岡山県 岡山城跡 備中松山城跡 太田茶屋遺跡
 広島県 内遺跡 中世城館遺跡 草戸千軒遺跡 前原
 遺跡
 山口県 仁馬山古墳 茶白山古墳 長登銅山跡 大板
 山たたら製鉄遺跡
 香川県 丸亀城跡 讃岐国分寺跡 有岡古墳群
 愛媛県 井手東1遺跡 葉佐池古墳 来住廃寺 宮前
 川北斎院遺跡
 福岡県 大野城跡 太宰府口城門 鴻臚館跡 平塚川
 添遺跡
 佐賀県 名護屋城跡
 長崎県 原の辻遺跡 鷹島海底遺跡
 熊本県 鞠智城
 大分県 安国寺遺跡 亀塚古墳
 宮崎県 国衙・郡衙・古寺跡範囲確認調査 上の原遺
 跡 西都原古墳群
 沖縄県 知念城跡 今帰仁城跡 糸数城跡 識名園
 仲原遺跡

埋蔵文化財ニュース刊行

第78号 保存科学関連設備と保存科学に携わる人員の
 調査

5. その他

委員会等

第20回飛鳥資料館運営協議会

1994年7月18日 於 飛鳥資料館
 平城・飛鳥藤原宮跡調査整備指導委員会

1994年5月30・31日 於 平城宮資料館講堂

協力事業等

文化庁では1971年度から特別史跡藤原宮跡の国有化
 を進めており、1972年度から当研究所が文化庁から支
 出委任を受けて買取事務を担当しているが、1994年度
 の状況は下記のとおりである。

区 分	面 積	金 額
1994年度	5,495.03	279,987,594
国有地合計	349,209.86	25,249,146,074

II. 図書及び資料

図 書 151,140冊 (1995. 3. 31)

区 分	種 別	購 入	寄 贈	計
1994年度	和漢書	1,934	6,092	8,026
	洋 書	58	109	167
累 計	和漢書	54,796	88,642	143,438
	洋 書	5,867	1,835	7,702

写 真 545,782 (1994年度末)

III. 研究成果刊行物

1. 1994年度刊行物

名 称	
学 報	第54冊 平城京左京二条二坊 一長屋王 邸・藤原麻呂邸一 発掘調査報告 第55冊 飛鳥藤原宮発掘調査IV 一飛鳥 水落遺跡の調査一
史 料	第40冊 山田寺出土建築部材集成 第41冊 平城京木簡一
報告書等	1993年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報 飛鳥・藤原宮跡発掘調査24 平城宮発掘調査出土木簡概報28 平城宮発掘調査出土木簡概報29
図 録	古代の形 藤原京創都1300年特別展

2. 前年度までの刊行物

奈良国立文化財研究所学報

年度	名 称
1954	第1冊 仏師運慶の研究
	第2冊 修学院離宮の復元的研究
1955	第3冊 文化史論叢
1956	第4冊 奈良時代僧房の研究
1957	第5冊 飛鳥寺発掘調査報告
1958	第6冊 中世庭園文化史
	第7冊 興福寺食堂発掘調査報告
1959	第8冊 文化史論叢II
	第9冊 川原寺発掘調査報告
1960	第10冊 平城宮跡第一次・伝飛鳥板蓋宮跡発 掘調査報告
1961	第11冊 院の御所と御堂一院家建築の研究一
1962	第12冊 巧匠阿弥陀仏快慶
	第13冊 寝殿造系庭園の立地的考察
	第14冊 唐招提寺藏「レース」と「金亀舎利

		塔」に関する研究
	第15冊	平城宮発掘調査報告II 官衙地域の調査
1963	第16冊	平城宮発掘調査報告III 内裏地域の調査
1965	第17冊	平城宮発掘調査報告IV 官衙地域の調査
	第18冊	小堀遠州の作事
1967	第19冊	藤原氏の氏寺とその院家
1969	第20冊	名物裂の成立
1971	第21冊	研究論集I
1973	第22冊	研究論集II
1974	第23冊	平城宮発掘調査報告VI 平城京左京一条三坊の調査
	第24冊	高山一町並調査報告一
1975	第25冊	平城京左京三条二坊
	第26冊	平城宮発掘調査報告VII
	第27冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告I
	第28冊	研究論集III
	第29冊	木曾奈良井一町並調査報告一
1976	第30冊	五條一町並調査の記録一
1977	第31冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告II
	第32冊	研究論集IV
	第33冊	イタリア中部の一山岳集落における 民家調査報告
	第34冊	平城宮発掘調査報告IX
1978	第35冊	研究論集V
	第36冊	平城宮整備調査報告I
1979	第37冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告III
	第38冊	研究論集VI
1980	第39冊	平城宮発掘調査報告X
1981	第40冊	平城宮発掘調査報告XI
1984	第41冊	研究論集VII
	第42冊	平城宮発掘調査報告XII
	第43冊	日本における近世民家(農家)の系 統的発展
1985	第44冊	平城京左京三条二坊六坪発掘調査報 告
1986	第45冊	薬師寺発掘調査報告
1988	第46冊	平城京右京八条一坊十三・十四坪発 掘調査報告書
	第47冊	研究論集VIII
1990	第48冊	年輪に歴史を読む一日本における古 年輪学の成立一
	第49冊	研究論集IX
	第50冊	平城宮跡発掘調査報告書XIII
1992	第51冊	平城宮跡発掘調査報告書XIV
	第52冊	西隆寺発掘調査報告書
1993	第53冊	平城宮朱雀門の復原的研究

奈良国立文化財研究所史料

年度	名	称
1954	第1冊	南無阿弥陀仏作善集(複製)
1955	第2冊	西大寺叡尊伝記集成
1963	第3冊	仁和寺史料 寺誌編1
1964	第4冊	俊乗坊重源史料集成

1966	第5冊	平城宮木簡1 函版
1967	第6冊	仁和寺史料 寺誌編2
1969	第5冊	平城宮木簡1 解説(別冊)
1970	第7冊	唐招提寺史料1
1974	第8冊	平城宮木簡2 函版・解説
	第9冊	日本美術院彫刻等修理記録I
1975	第10冊	日本美術院彫刻等修理記録II
1976	第11冊	日本美術院彫刻等修理記録III
1977	第12冊	藤原宮木簡1 函版・解説
	第13冊	日本美術院彫刻等修理記録IV
1978	第14冊	日本美術院彫刻等修理記録V
	第15冊	東大寺文書目録第1巻
1979	第16冊	日本美術院彫刻等修理記録VI
	第17冊	平城宮木簡3 函版・解説
	第18冊	藤原宮木簡2 函版・解説
	第19冊	東大寺文書目録第2巻
1980	第20冊	日本美術院彫刻等修理記録VII
	第21冊	東大寺文書目録第3巻
1981	第22冊	七大寺巡礼私記
	第23冊	東大寺文書目録第4巻
1982	第24冊	東大寺文書目録第5巻
	第25冊	平城宮出土墨書土器集成I
1983	第26冊	東大寺文書目録第6巻
1984	第27冊	木器集成図録一近畿古代編一
1985	第28冊	平城宮木簡4 函版・解説
	第29冊	興福寺典籍文書目録第1巻
1988	第30冊	山内清男考古資料1 真福寺貝塚資 料他
	第31冊	平城宮出土墨書土器集成II
1989	第32冊	山内清男考古資料2
1991	第33冊	山内清男考古資料3
	第34冊	山内清男考古資料4
	第35冊	山内清男考古資料5
1992	第36冊	木器集成図録一近畿原始編一
	第37冊	梵鐘実測図集成(上)
1993	第38冊	梵鐘実測図集成(下)
	第39冊	山内清男考古資料6

奈良国立文化財研究所基準資料

年度	名	称
1973	第1冊	瓦編1 解説
1974	第2冊	瓦編2 解説
1975	第3冊	瓦編3
1976	第4冊	瓦編4
	第5冊	瓦編5
1978	第6冊	瓦編6
1979	第7冊	瓦編7
1980	第8冊	瓦編8
1983	第9冊	瓦編9

飛鳥資料館図録

年度	名	称
1976	第1冊	飛鳥白鳳の在銘金銅仏
	第2冊	飛鳥白鳳の在銘金銅仏 銘文篇
1977	第3冊	日本古代の墓誌
1978	第4冊	日本古代の墓誌 銘文篇

1979	第5冊	古代の誕生仏
1979	第6冊	飛鳥時代の古墳—高松塚とその周辺—
1980	第7冊	日本古代の鶴尾
1981	第8冊	山田寺展
1982	第9冊	高松塚拾年
1983	第10冊	渡来人の寺—檜隈寺と坂田寺—
	第11冊	飛鳥の水時計
	第12冊	小建築の世界—埴輪から瓦塔まで—
1984	第13冊	藤原—半世紀にわたる調査と研究—
1985	第14冊	日本と韓国の塑像
	第15冊	飛鳥寺
1986	第16冊	飛鳥の石造物
1987	第17冊	萬葉乃衣食住
	第18冊	壬申の乱
1988	第19冊	古墳を科学する
	第20冊	聖徳太子の世界
1989	第21冊	仏舎利埋納
	第22冊	法隆寺金堂壁画飛天
1990	第23冊	日本書紀を掘る
1991	第24冊	飛鳥時代の埋蔵文化財に関する一考察
	第25冊	飛鳥の源流
1992	第26冊	飛鳥の工房

飛鳥稲淵宮殿跡地区 5,041㎡

建 物 34,829㎡

1. 庁 舎 34,391㎡

区 分	本庁舎	平 城	藤 原	飛 鳥 資料館	藤原 宮跡	計
	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡
事 務 室	568	176	197	108		1,049
研究・整理室	1,419	2,464	1,205	125		5,213
資料・図書室	1,021		383	131		1,535
会 議 室	338		129	49		516
講 堂		384	210	132		726
展 示 室		864	254	1,361		2,479
写 真 室	79	667	149	78		973
復 原 建 物		747				747
遺 構 展 示 室		1,563				1,563
車 庫	84	608	352	94		1,138
倉庫・収蔵庫	123	7,376	2,041	696		10,236
研 修 棟	1,416					1,416
そ の 他	1,673	1,979	1,506	1,606	36	6,800
計	6,721	16,828	6,426	4,380	36	34,391

2. 宿舍等 438㎡

重要文化財旧米谷家住宅 213㎡

飛鳥資料館宿舍 225㎡

IV 定 員

区 分	指定職	行政職(一)	行政職(二)	研究職	計
1994年度	1	22	1	62	86
1995年度	1	22	1	62	86

V 予 算 (1994年度)

人件費	707,960千円
運営費	1,178,071
事業管理	7,528
一般研究	61,240
特別研究	270,491
発掘調査	549,428
宮跡整備管理	72,871
飛鳥資料館運営	52,388
埋蔵文化財センター運営	73,265
本庁舎維持管理等経費	66,856
飛鳥藤原宮跡発掘調査部運営	24,004
施設費	679,717
平城宮跡等整備費	667,355
各所修繕費	12,362
計	2,565,748

VI 施 設

土 地

奈良国立文化財研究所所管	47,890㎡
本庁舎	8,860㎡
飛鳥藤原宮跡発掘調査部	2,515㎡
飛鳥資料館	17,092㎡
郡山宿舍(一)	80㎡
飛鳥資料館宿舍	1,343㎡
文化庁所管(関係分)	1,438,321㎡
平城宮跡地区	1,084,071㎡
藤原宮跡地区	349,209㎡

主要工事

(1) 平城宮跡地等整備費	千円
平城宮跡東院復原平成6年度工事	81,370
平城宮跡東院復原木材加工場仮設工事	25,750
平城宮跡朱雀門復原平成6年度工事	391,400
平城宮跡朱雀門木材保管庫新営工事	24,720
平城宮跡東方官衙地区整備工事	98,159
平城宮跡馬寮地区環境整備工事	96,305
藤原宮跡環境整備平成6年度工事	45,114
(2) その他	
(試験研究費、各所修繕費、国有文化財保存整備費)	
平城宮跡遺物解析処理棟改修工事	30,900
平城宮跡第3収蔵庫保存科学室分電盤改修工事	5,253
飛鳥資料館閉障改修工事	5,150
特別史跡山田寺跡整備工事	76,220

VII 人事異動 (1994.4.1~1995.3.31)

4月1日	奈良国立文化財研究所長に採用	田中 琢
	庶務部長に昇任	板垣 義信
	庶務部庶務課長補佐に昇任	田中 日出男
	庶務部庶務課庶務係長に昇任	金野 忠司
	庶務部会計課経理係経理主任に昇任	北川 博之
	平城宮跡発掘調査部遺構調査室長に昇任	山岸 常人
	埋蔵文化財センター教務室長に昇任	西影 憲二
	庶務部会計課施設係に転任	松井 敏夫
	建造物研究室長に転任	天田 起雄
	埋蔵文化財センター研究指導部保存工学研究室長に転任	加藤 允彦

事務補佐員（庶務部庶務課）に採用
藤原伊奈美

研究補佐員（飛鳥藤原宮跡発掘調査部）に採用
羽鳥 幸一

平城宮跡発掘調査部主任研究官に配置換
岩永 省三

飛鳥藤原宮跡発掘調査部主任研究官に配置換
上原 真人

飛鳥藤原宮跡発掘調査部考古第二調査室に配置換
次山 淳

文化庁記念物課文化財調査官に転任
本中 真

高知大学人文学部助教授に転任森 公章

京都国立近代美術館庶務課長に転任
白井 国明

京都大学医学部附属病院総務課長補佐に転任
宮谷 浩

大阪大学医学部附属病院総務課職員掛長に転任
美濃越 進

大阪大学医学部附属病院管理課用度第二掛主任に転任
林 正一郎

名古屋大学施設部設備課管理掛に転任
小園 秀彦

7月1日 平城宮跡発掘調査部主任研究官に昇任
玉田 芳英

平城宮跡発掘調査部主任研究官に昇任
渡辺 晃宏

飛鳥藤原宮跡発掘調査部主任研究官に昇任
島田 敏男

7月16日 庶務部会計課用度係長に昇任 市原 稔三

東京近代美術館フィルムセンター主幹補佐に昇任
小林 雅文

8月1日 埋蔵文化財センター教務室に配置換
宍戸 雅子

庶務部会計課に配置換
港 悦子

埋蔵文化財センター研究指導部に配置換
岩永 恵子

9月1日 事務補佐員（庶務部庶務課）に採用
西井 千恵

9月8日 死亡
天田 起雄

9月22日 辞職
西井 千恵

10月1日 埋蔵文化財センター教務室教務係長に昇任
高畑 孝雄

建造物研究室主任研究官に転任村田 健一

飛鳥藤原宮跡発掘調査部遺構調査室に配置換
藤田 盟児

京都大学木質科学研究所会計掛長に転任
川島 保夫

10月20日 事務補佐員（庶務部庶務課）に採用
栢谷 香英

3月31日 辞職
牛川 喜幸

辞職
大脇 潔

辞職
山岸 常人

退職
松沢 亜生

退職
木全 敬蔵

退職
藤原伊奈美

退職 吉田 昌代
退職 伊藤 武
退職 村田 和弘

VIII 組織規定

文部省組織令（抜粋）

昭和59年6月28日 政令第227号

第2章 文化庁

第3節 施設等機関

（施設等機関）

第108条 文化庁長官の所轄の下に、文化庁に国立国語研究所を置く。

2 前項に定めるもののほか、文化庁に次の施設等機関を置く。

（中略）

国立文化財研究所

（国立文化財研究所）

第114条 国立文化財研究所は、文化財に関する調査研究、資料の作成及びその公表を行う機関とする。

2 国立文化財研究所には、支所を置くことができる。

3 国立文化財研究所及びその支所の名称、位置及び内部組織は文部省令で定める。

文部省設置法施行規則（抜粋）

昭和28年1月13日 文部省令第2号

第5章 文化庁の施設等機関

第4節 国立文化財研究所

第1款 名称及び位置

（名称及び位置）

第116条の9 国立文化財研究所の名称及び位置は、次の表に掲げるとおりとする。

名 称	位 置
東京国立文化財研究所	東 京 都 台 東 区
奈良国立文化財研究所	奈 良 県 奈 良 市

第2款 奈良国立文化財研究所

（所長）

第123条 奈良国立文化財研究所に、所長を置く。

2 所長は、所務を掌理する。

（内部組織）

第124条 奈良国立文化財研究所に、庶務部、建造物研究室及び歴史研究室並びに平城宮跡発掘調査部及び飛鳥藤原宮跡発掘調査部を置く。

2 前項に定めるもののほか、奈良国立文化財研究所に、飛鳥資料館及び埋蔵文化財センターを置く。

（庶務部の分課及び事務）

第125条 庶務部に、次の二課を置く。

一 庶務課

二 会計課

2 庶務課においては、次の事務をつかさどる。

一 職員の人事に関する事務を処理すること。

二 職員の福利厚生に関する事務を処理すること。

三 公文書類の接受及び公印の管守その他庶務に關すること。

四 この研究所の所掌事務に関し、連絡調整するこ

と。

五 この研究所の所掌に係る遺構及び遺物の保全のための警備に関すること。

六 前各号に掲げるもののほか、他の所掌に属しない事務を処理すること。

3 会計課においては、次の事務をつかさどる。

一 予算に関する事務を処理すること。

二 経費及び取入の決算その他会計に関する事務を処理すること。

三 行政財産及び物品の管理に関する事務を処理すること。

四 庁舎及び設備の維持、管理に関する事務を処理すること。

五 庁内の取締りに関すること。

第126条 削除

(建造物研究室等の事務)

第127条 建造物研究室においては、建造物及び伝統的建造物群に関する調査研究を行い、並びにその結果の公表を行う。

2 歴史研究室においては、考古及び史跡並びに歴史資料に関する調査研究を行い、並びにその結果の公表を行う。

(平城宮跡発掘調査部の六室及び事務)

第128条 平城宮跡発掘調査部に、考古第一調査室、考古第二調査室、考古第三調査室、遺構調査室、計測修景調査室及び史料調査室を置く。

2 前項の各室においては、平城宮跡に関し、次項から第6項までに定める事務を処理するほか、その発掘を行う。

3 考古第一調査室、考古第二調査室及び考古第三調査室においては、別に定めるところにより分担して、遺物(木簡を除く。)の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

4 遺構調査室においては、遺構の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

5 計測修景調査室においては、遺構の計測及び修景並びにこれらに関する調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

6 資料調査室においては、木簡の保存整理及び調査研究、史料の収集及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

(藤原宮跡発掘調査部の四室及び事務)

第129条 飛鳥藤原宮跡発掘調査部に考古第一調査室、考古第二調査室、遺構調査室及び史料調査室を置く。

2 前項の各室においては、藤原宮跡及び飛鳥地域における宮跡その他の遺跡に関し、次項から第5項までに定める事務を処理するほか、その発掘を行う。

3 考古第一調査室及び考古第二調査室においては、別に定めるところにより分担して、遺物(木簡を除く。)の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

4 遺構調査室においては、遺構の保存整理及び調査研究、遺構の計測及び修景並びにこれらに関する調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

5 史料調査室においては、木簡の保存整理及び調査研究、史料の収集及び調査研究並びにこれらの結果

の公表を行う。

(飛鳥資料館)

第130条 飛鳥資料館においては、飛鳥地域の歴史的意義及び文化財に関し、国民の理解を深めるため、この地域に関する考古資料、歴史資料その他の資料を収集し、保管して公衆の観覧に供し、あわせてこれらに関する調査研究及び事業を行う。

(飛鳥資料館の館長)

第131条 飛鳥資料館に、館長を置く。

2 館長は、館務を掌理する。

(飛鳥資料館の二室及び事務)

第132条 飛鳥資料館に、所務室及び学芸室を置く。

2 庶務室においては、飛鳥資料館の庶務、会計等に関する事務を処理する。

3 学芸室においては、次の事務をつかさどる。

一 飛鳥地域に関する考古資料、歴史資料、建造物、絵画、彫刻、典籍、古文書その他の資料の収集、保管、展示、模写、模造、写真の作成、調査研究及び解説を行うこと。

二 飛鳥地域に関する図書、写真その他の資料の収集、整理、保管、展示、閲覧及び調査研究を行うこと。

三 飛鳥資料館の事業に関する出版物の編集及び刊行並びに普及宣伝を行うこと。

(埋蔵文化財センター)

第133条 埋蔵文化財センターにおいては、次の事務をつかさどる。

一 埋蔵文化財に関し、調査研究及びその結果の公表を行うこと。

二 埋蔵文化財の調査及び保存整理に関し、地方公共団体の埋蔵文化財調査関係職員その他の関係者に対して、専門的、技術的な研修を行うこと。

三 埋蔵文化財の調査及び保存整理に関し、地方公共団体の機関その他関係の機関及び団体等の求めに応じ、専門的、技術的な指導及び助言を行うこと。

四 埋蔵文化財に関する情報資料の作成、収集、整理、保管及び調査研究を行い、並びに地方公共団体の機関その他関係の機関及び団体等の求めに応じ、その利用に供すること。

(埋蔵文化財センターの長)

第134条 埋蔵文化財センターに長を置く。

2 前項の長は、埋蔵文化財センターの事務を掌理する。

(埋蔵文化財センターの内部組織)

第135条 埋蔵文化財センターに、教務室、研究指導部及び情報資料室を置く。

(教務室の事務)

第136条 教務室においては、研修の実施に関する事務を処理するほか、埋蔵文化財センターの庶務に関する事務をつかさどる。

(研究指導部の六室及び事務)

第137条 研究指導部に、考古計画室、集落史跡研究室、発掘技術研究室、遺物処理研究室、測量研究室及び保存工学研究室を置く。

2 考古計画研究室においては、第133条第1号から第3号までに掲げる事務(他の室の所掌に属するもの

を除く。)をつかさどる。

3 集落遺跡研究室においては、集落遺跡に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務(発掘技術研究室、遺物処理研究室、測量研究室及び保存工学研究室内の所掌に属するものを除く。)をつかさどる。

4 発掘技術研究室においては、遺跡の発掘技術に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

5 遺物処理研究室においては、遺物の処理に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

6 測量研究室においては、埋蔵文化財の測量に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

7 保存工学研究室においては、遺跡の保存整備に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

(情報資料室の事務)

第138条 情報資料室においては、第133条第4号に掲げる事務をつかさどる。

(客員研究員)

第139条 奈良国立文化財研究所に客員研究員を置くことができる。

2 客員研究員は、所長の命を受け、奈良国立文化財研究所において行う調査研究に参画する。

3 客員研究員は、非常勤とする。

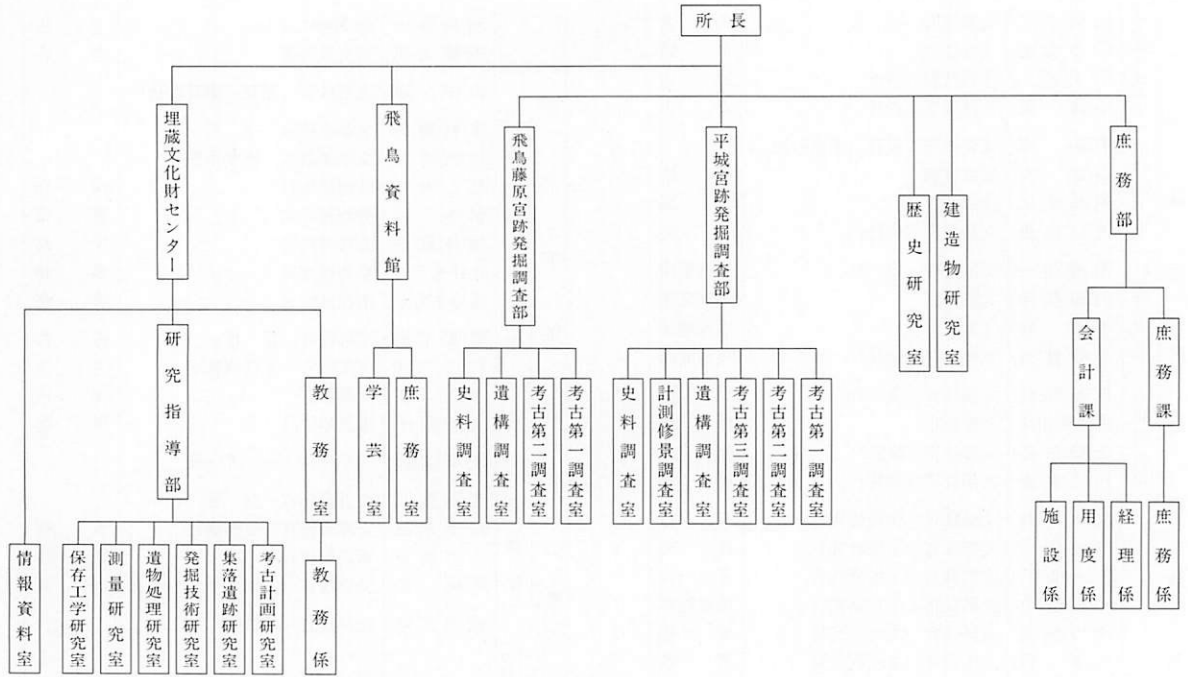
改正 昭和43年6月15日 文部省令第20号
 昭和45年4月17日 文部省令第11号
 昭和48年4月12日 文部省令第6号
 昭和49年4月11日 文部省令第10号
 昭和50年4月2日 文部省令第13号
 昭和51年5月10日 文部省令第16号
 昭和52年4月18日 文部省令第10号
 昭和53年4月5日 文部省令第19号
 昭和53年9月9日 文部省令第33号
 昭和55年4月5日 文部省令第14号
 昭和55年6月25日 文部省令第23号
 昭和58年10月1日 文部省令第25号
 昭和59年6月30日 文部省令第37号
 昭和63年4月8日 文部省令第12号

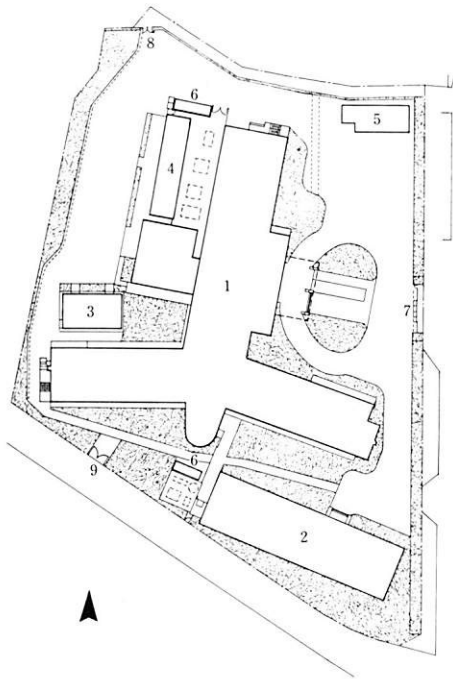
職員 (1995年7月1日現在)

所属	氏名	官職	担当	
	田中 琢	文部技官 所長		
庶務課	板垣 義信	文部事務官 部長	平城事務	
	清水 功	文部事務官 課長		
	田中日出男	文部事務官 課長補佐		
	西田 健三	文部事務官 専門職員		
	金野 忠司	文部事務官 庶務係長		
	八木 清隆	文部事務官		庶務人事 庶務 庶務 庶務 庶務 図書資料 図書資料 図書資料 公 保 守
	大西 和子	事務補佐員		
	福本 良子	事務補佐員		
	新宮 恵子	事務補佐員		
	中風呂恭代	事務補佐員		
	榎谷 香英	事務補佐員		
	本中 宣代	事務補佐員		
	中川かよ子	事務補佐員		
	中垣 睦美	事務補佐員		
	石川千恵子	研究補佐員		
	奥村 功	技能補佐員		
	庶務部	萩原 寿郁	文部事務官 課長	施設 藤原事務
		紺谷 優	文部事務官 課長補佐	
		渡邊 康史	文部技官 課長補佐	
		笹松 保	文部技官 専門職員	
		櫻井 雅樹	文部事務官 専門職員	
市原 稔三		文部事務官 経理係長		
北川 博之		文部事務官 経理主任		
港 悦子		事務補佐員	経 理 経 理 経 理	
森本はぎ子		事務補佐員		
小林 玉美		事務補佐員		
中 嶋 昌 士		文部事務官 用度係長		
森 昭 彦		文部事務官 用度主任		
飯田 信男		文部技官 車庫長		
上村 敬子	事務補佐員			
幸田 恵理子	事務補佐員			
笹松 保	文部技官 施設係長(兼任)			
松井 敏夫	文部技官 施設主任			
上垣内茂樹	文部技官	施 設 施 設 施 設 施 設		
永井 和代	事務補佐員			
山口 由佳	事務補佐員			
	中 埜 博	技術補佐員		
建造物研究室	木村 勉	文部技官 室長	建 築 建 築 建 築 遺跡庭園 建 築 建 築	
	村田 健一	文部技官 主任研究官		
	浅川 滋男	文部技官 (併任)		
	小野 健吉	文部技官 (併任)		
	島田 敏男	文部技官 (併任)		
	藤田 盟児	文部技官 (併任)		
歴史研究室	綾村 宏	文部技官 室長	歴 史 考 古 歴 史 考 古 歴 史 考 古 歴 史 考 古	
	西口 壽生	文部技官 (併任)		
	橋本 義則	文部技官 (併任)		
	森本 晋	文部技官 (併任)		
	渡辺 晃宏	文部技官 (併任)		
	白 杵 勲	文部技官 (併任)		
平城宮跡発掘調査部	町田 章	文部技官 部長	考 古 考 古 考 古 考 古 考 古 考 古	
	小林 謙一	文部技官 室長		
	白 杵 勲	文部技官		
	加藤 真二	文部技官		
	毛利光俊彦	文部技官 室長		
	立木 修 玉田 芳英	文部技官 (併任) 文部技官 (併任)		

平	考古第三調査室	山崎信二	文部技官	室長	考	古				
		岸本直文	文部技官				考	古		
		岩永省三	文部技官	(併任)					考	古
	遺構調査室	小澤毅	文部技官	(併任)			考	古		
		町田章	文部技官	室長(事務取扱)					考	古
		長尾充	文部技官							
	計測修景調査室	箱崎和久	文部技官				考	古		
		浅川久男	文部技官	(併任)					考	古
		高瀬要一	文部技官	室長						
	史料調査室	内田伸	文部技官				考	古		
平澤毅		文部技官		考	古					
小野健吉		文部技官	(併任)			考			古	
掘	史料調査室	館野和己	文部技官	室長	考		古			
		古尾谷知浩	文部技官			考		古		
		寺崎保広	文部技官	(併任)					考	古
	遺構調査室	渡辺晃宏	文部技官	(併任)		考		古		
		立木修	文部技官	主任研究官					考	古
		寺崎保広	文部技官	主任研究官						
	遺構調査室	岩永省三	文部技官	主任研究官		考		古		
		小野健吉	文部技官	主任研究官					考	古
		浅川滋男	文部技官	主任研究官						
	遺構調査室	小澤毅	文部技官	主任研究官		考		古		
玉田芳英		文部技官	主任研究官	考	古					
渡辺晃宏		文部技官	主任研究官				考		古	
遺構調査室	西田健三	文部事務官	(併任)	考	古					
	佃幹雄	文部技官	専門員			考	古			
	井上直夫	文部技官	専門職員					考	古	
飛	考古第一調査室	牛嶋茂	文部技官	専門職員	考	古				
		猪熊兼勝	文部技官	部長			考	古		
		黒崎直	文部技官	室長					考	古
	考古第二調査室	深澤芳樹	文部技官	(併任)			考	古		
		花谷浩	文部技官	(併任)					考	古
		井上直夫	文部技官	(併任)						
	遺構調査室	松村恵司	文部技官	室長			考	古		
		千田剛道	文部技官	(併任)					考	古
		西口壽生	文部技官	(併任)						
	史料調査室	村上隆	文部技官	(併任)			考	古		
巽淳一郎		文部技官	室長	考	古					
藤田盟児		文部技官	(併任)			考			古	
宮	遺構調査室	上原真人	文部技官	(併任)	考		古			
		島田敏男	文部技官	(併任)		考		古		
		川越俊一	文部技官	室長					考	古
	史料調査室	橋本義則	文部技官	(併任)		考		古		
		佐川正敏	文部技官	(併任)					考	古
		千田剛道	文部技官	主任研究官						
	遺構調査室	西口壽生	文部技官	主任研究官		考		古		
		上原真人	文部技官	主任研究官					考	古
		深澤芳樹	文部技官	主任研究官						
	史料調査室	橋本義則	文部技官	主任研究官		考		古		
佐川正敏		文部技官	主任研究官	考	古					
花谷浩		文部技官	主任研究官				考		古	
遺構調査室	村上隆	文部技官	主任研究官	考	古					
	島田敏男	文部技官	主任研究官			考	古			
	櫻井雅樹	文部事務官	事務総括(併任)					考	古	
史料調査室	吉岡佐和子	事務補佐員		考	古					
	松本誠	技能補佐員				考	古			
	木寅貢志	技能補佐員						考	古	
遺構調査室	宮川伴子	研究補佐員		考	古					
	荒木浩司	研究補佐員				考	古			
	伊藤敬太郎	研究補佐員						考	古	

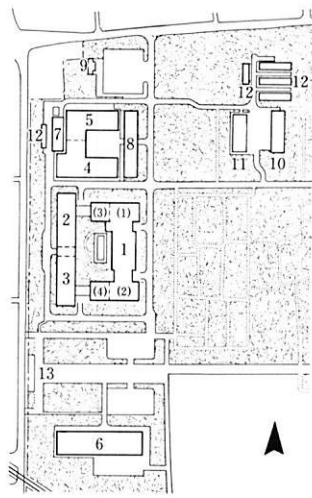
飛	庶務室	羽鳥幸一	研究補佐員	考	古					
		近藤大典	研究補佐員			考	古			
		田中琢	文部技官					館長(事務取扱)	考	古
	学芸室	家村庸男	文部事務官			室長	考	古		
		中西建夫	文部事務官			庶務主任			考	古
		乾春雄	技能補佐員							
	教務室	藤本清	警務補佐員				考	古		
		福井敏子	業務補佐員						考	古
		森井恵三子	事務補佐員							
	考古第四研究室	米川まち子	事務補佐員				考	古		
岩本圭輔		文部技官	室長	考	古					
杉山洋		文部技官	主任研究官			考			古	
考古第五研究室	次山淳	文部技官		考	古					
	大谷照子	事務補佐員				考	古			
	工楽善通	文部技官	センター長					考	古	
考古第六研究室	西影憲二	文部事務官	室長	考	古					
	高畑孝雄	文部事務官	教務係長			考	古			
	尖戸雅子	事務補佐員						考	古	
考古第七研究室	牛嶋茂	文部技官	(併任)	考	古					
	沢田正昭	文部技官	部長			考	古			
	金子裕之	文部技官	室長					考	古	
考古第八研究室	山中敏史	文部技官	室長	考	古					
	光谷拓実	文部技官	室長			考	古			
	松井章	文部技官	(併任)					考	古	
考古第九研究室	肥塚隆保	文部技官	室長	考	古					
	西村康章	文部技官	室長			考	古			
	松井章	文部技官	(併任)					考	古	
考古第十研究室	加藤允彦	文部技官	室長	考	古					
	内田昭人	文部技官	(併任)			考	古			
	内田昭人	文部技官	主任研究官					考	古	
考古第十一研究室	松井章晋	文部技官	主任研究官	考	古					
	森本晋	文部技官	主任研究官			考	古			
	岩永恵子	事務補佐員						考	古	
情報資料室	伊東太作	文部技官	室長	考	古					
	森本晋	文部技官	(併任)			考	古			





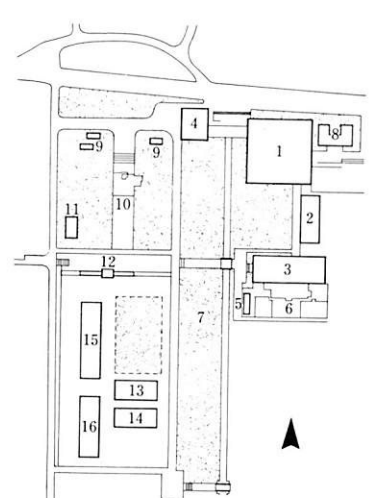
本館配置図

- 1 本館
- 1階 庶務部及び図書資料室
2階 所長室及び平城宮跡発掘調査部
3階 建造物研究室、歴史研究室及び埋蔵文化財センター
- 2 埋蔵文化財センター研修棟 3 研修棟
4 機械棟 5 車庫 6 自転車置場
7 正門 8 通用門 9 非常口



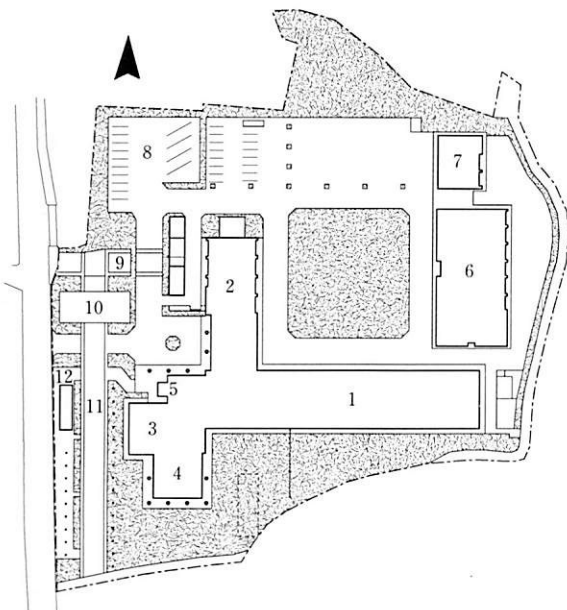
平城宮跡資料館配置図

- 1 平城宮跡資料館
(1) 展示室 (3) 準備室
(2) 講堂 (4) 写場
- 2 第1取蔵庫
3 第2取蔵庫
4 第3取蔵庫
5 第4取蔵庫
6 第5取蔵庫
- 7 大型遺物処理棟
8 遺物解析処理棟
9 便所
10 整備棟
11 資材保管加工棟
12 取蔵庫
13 佐伯門跡



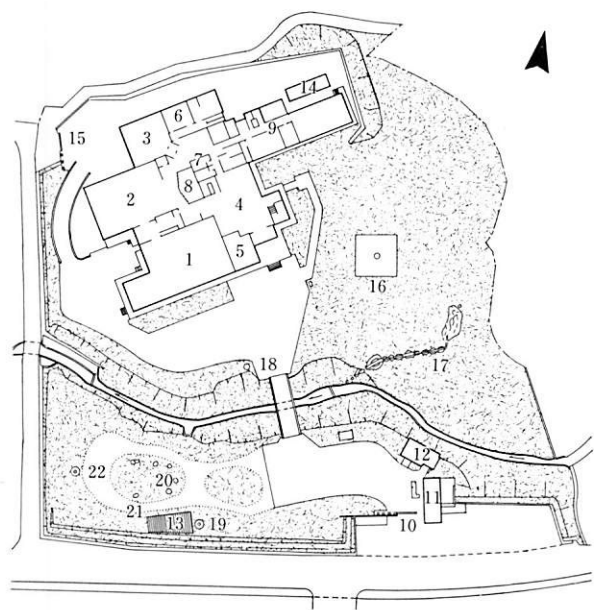
平城宮跡遺構展示館配置図

- 1 遺構展示館 2 展示館
3 遺構展示館 4 管理棟
5 築地塼復原 6 塼積基壇復原
7 東大溝復原 8 便所
9 バーゴラ 10 案内広場
11 防災設備室
12 宮内省北門・築地塼復原
13 宮内省復原建物(南殿)
14 宮内省復原建物(南殿第2殿)
15 宮内省復原建物(西北殿)
16 宮内省復原建物(西南殿)



飛鳥藤原宮跡発掘調査部配置図

- 1 整理研究棟 2 管理棟
3 展示室 4 講堂
5 入口 6 取蔵庫棟
7 保存科学棟 8 駐車場
9 六条条間路跡 10 建物跡
11 東三坊間路跡



飛鳥資料館配置図

- 1 第1展示室 2 第2展示室 3 講堂
4 ロビー 5 閲覧室・売店 6 会議室
7 便所 8 光庭 9 管理棟
10 正門 11 売札所 12 屋外展示解説室
13 バーゴラ 14 機械室 15 通用門
16 須弥山石 17 酒船石 18 石人像
19 山田寺塔心礎 20 猿石 21 人頭石
22 法輪寺塔心礎

Table Of Contents

	Page
Frontispiece	
I. International Scholarly Exchanges	
Archaeological Investigations at the Northern Wei Dynasty Yongning Buddhist Temple site, Luoyang, Henan, China	2
Institute's Curators' Long-Term Research Trips Abroad	4
Institute's Curators' Short-Term Research Trips Abroad	6
Foreign Scholars Invited and Visited	8
Miscellaneous International Research News	9
II. Researches and Investigations	
Intra-Institute Advanced Seminars	12
Wooden Artifact Discovered in the Nagaoka Capital Site (A. D. 784-794), which Has been Identified as a Japanese Harp	15
Eaves Tiles of the Asuka-dera Buddhist Temple Site (Supplement)	16
Archaeological and Scientific Investigations into Metal Vessels Owned by the Hōryū-ji Buddhist Temple (Part 2)	18
Roof Tiles with Engraved Marks, which Have been Excavated at Kiln Site in Northern Nara and Southern Kyoto Prefectures	20
Analysis of Faunal Remains (11)	22
Dendrochronology (12)	23
Three-dimensional Image of a Silver Inlaid Phoenix Pattern Captured by an X-Ray Computed Tomography	24
Catalogs of Buddhist Sutras Owned by the Hōrin-in, Ishiyama-dera Temple, Shiga Prefecture	26
Architectural Studies on the Early Modern Buddhist Temples and Shinto Shrines in Okayama City (1)	30
Studies for and Prototype-Building of Mechanical Systems that Assist Archaeological Excavations and Mapping	32
Photogrammetry and Manual Measurement of a Stone Stupa at the Tō-no-Mori ["Forest of Pagodas"], Nara City	36
Plan and Design for a Physical Reconstruction of the Main Hall of Eastern Complex of the Nara Imperial Palace	37
Design for a 1: 10 Scale Model of the Early Imperial Audience Hall	40
Wooden Tablets with Inscriptions in Ink Discovered in the Nara Imperial Palace and Capital Sites in the Fiscal Year of 1994	42
Special Exhibition in the Division of the Asuka and Fujiwara Palace Site Investigations Display Room, Held in Conjunction to Celebrations for 1300 Anniversary of the Fujiwara Palace	44
Special Exhibitions Held at the Asuka Historical Museum	45
Preparatory Studies for a Reconstruction of the Early Imperial Audience Hall Compound, Nara Imperial Palace	46
Restoration of the Nara Imperial Palace and Fujiwara Palace Sites	47
Public Lectures/Miscellaneous Research News	50
III. Archaeological Excavations	
Sites in the Asuka Area, Fujiwara Palace and Fujiwara Capital	52
Nara Imperial Palace and Nara Capital Sites	74
Miscellaneous Activities of the Institute/Organization of the Institute	93